

2021年度 御幸病院リハビリテーション統計

目次

- 1 リハビリの実施単位数
 - ①1患者1日あたりのリハビリ単位数・病棟別
 - ②回復期リハ病棟（脳血管リハ）
 - ③回復期リハ病棟（運動期リハ）
 - ④回復期リハ病棟（廃用リハ）
 - ⑤84歳以下・85歳以上・全体回復期リハの実施平均比較
 - ⑥心大血管リハ 疾患分類
 - ⑦心大血管リハ1患者1日あたりのリハビリ単位数

- 2 退院患者
 - ①回復期リハ病棟 最終退院先退院患者
 - ②心大血管リハ 最終退院先退院患者

- 3 リハビリによる改善
 - ①回復期FIM入院時・退院時の散布図
 - ②地域包括ケア病棟FIM入院時・退院時の散布図
 - ③心大血管リハ対象者のFIM入院時・退院時の散布図
 - ④FIMの改善（回復期リハ病棟：FIM利得）
 - ⑤食事 FIMの改善（回復期リハ病棟）
 - ⑥トイレ FIMの改善（回復期リハ病棟）
 - ⑦移乗 FIMの改善（回復期リハ病棟）
 - ⑧移動 FIMの改善（回復期リハ病棟）
 - ⑨2021年度回復期リハ病棟実績指数（アウトカム）
 - ⑩FIMの改善（心大血管リハ：FIM利得）
 - ⑪オムツ離脱率（回復期リハ病棟）
 - ⑫摂食嚥下能力のグレード（回復期リハ病棟）
 - ⑬5m歩行速度の改善（心大血管リハ）
 - ⑭握力の変化（心大血管リハ）
 - ⑮ウォークエイド FIMの改善

1 リハビリの実施単位数

① 1患者1日あたりのリハビリ単位数・病棟別

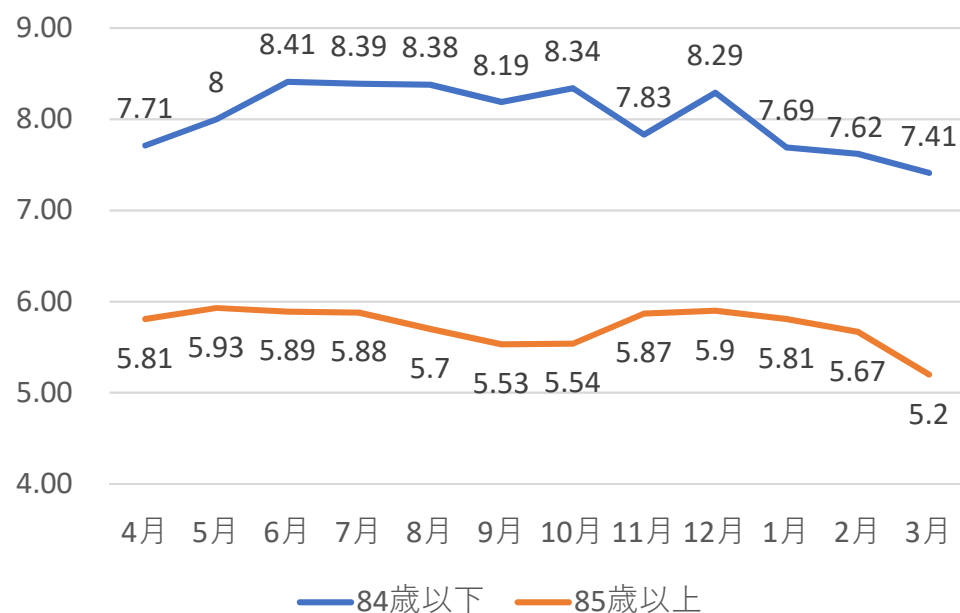
当院では、

- 1日平均 回復期：6.80単位
- 一般：4.91単位
- 療養：2.96単位
- 地域包括：2.26単位

(1単位=20分)の個別リハビリテーションを実施しております。

② 回復期リハ病棟（脳血管リハ） 1患者1日あたりのリハビリ単位数

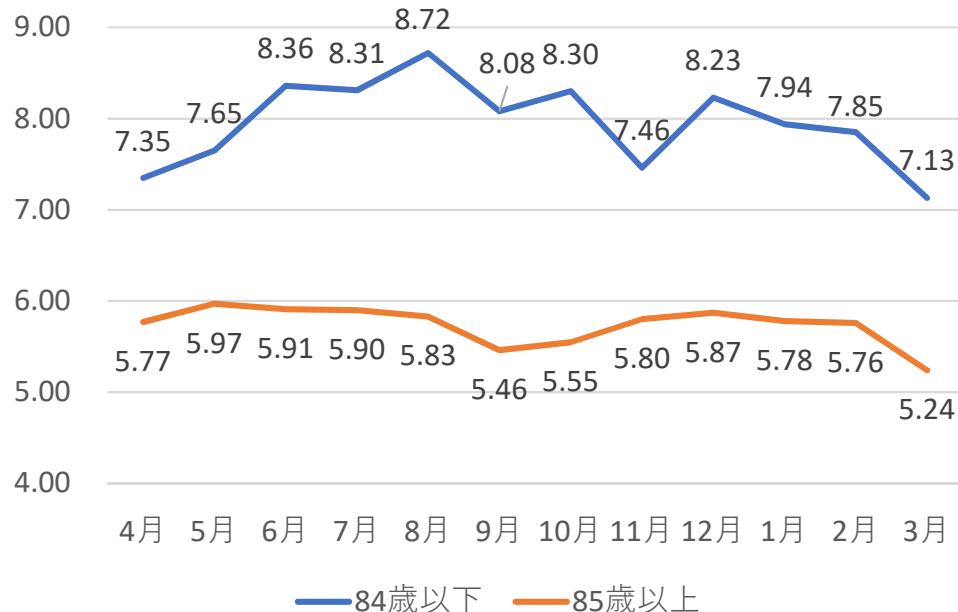
84歳以下は、1日平均8.02単位、
85歳以上は、1日平均5.73単位
の個別リハビリテーションを実施しております。



1 リハビリの実施単位数

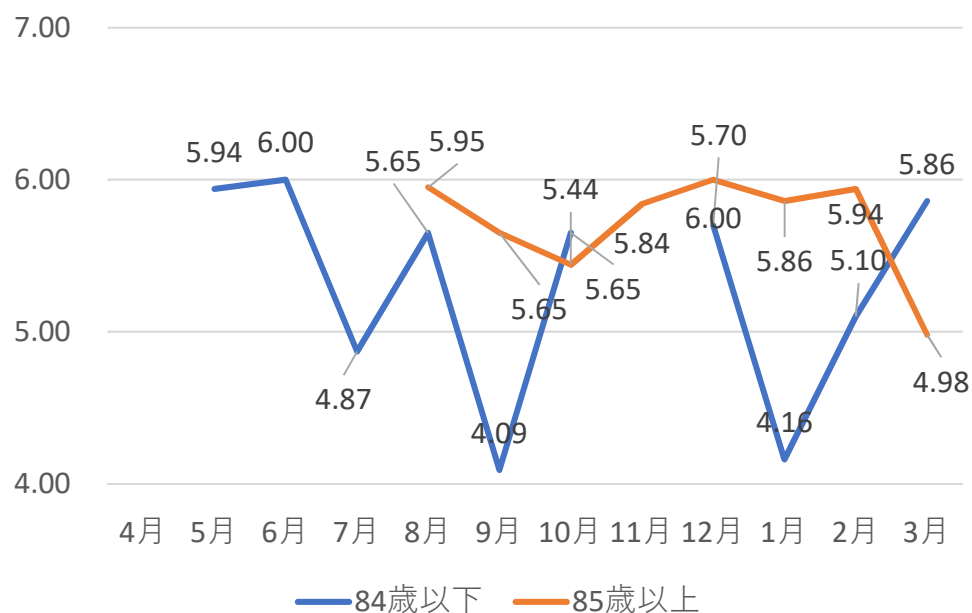
③ 回復期リハ病棟（運動器リハ） 1患者1日あたりのリハビリ単位数

84歳以下は、1日平均7.95単位、
85歳以上は、1日平均5.74単位
の個別リハビリテーションを実施しております。



④ 回復期リハ病棟（廃用リハ） 1患者1日あたりのリハビリ単位数

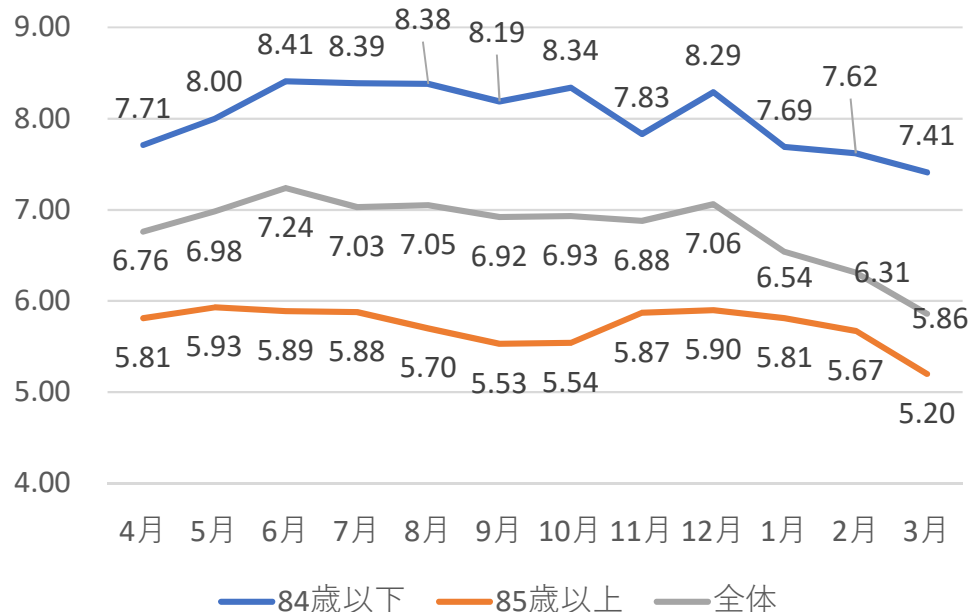
84歳以下は、1日平均4.42単位、
85歳以上は、1日平均3.78単位
の個別リハビリテーションを実施しております。



1 リハビリの実施単位数

⑤ 84歳以下・85歳以上・全体回復期リハの実施平均比較

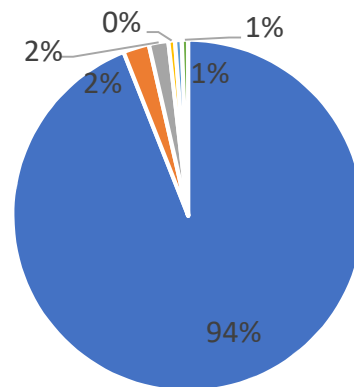
84歳以下は、1日平均8.02単位、
 85歳以上は、1日平均5.73単位、
 全体は 1日平均6.80単位
 の個別リハビリテーションを実施しております。



⑥ 心大血管リハビリテーション疾患分類 (n=167)

「心不全」には慢性心不全やうっ血性心不全を含みます。(全例から死亡症例を除いた167例)

| 疾患名 | 件数 |
|-------------------|-----|
| 慢性心不全急性増悪 | 157 |
| OPE後(弁膜症) | 4 |
| OPE後(冠動脈バイパス、開胸術) | 3 |
| 狭心症 | 1 |
| 心筋梗塞 | 1 |
| ASO | 1 |

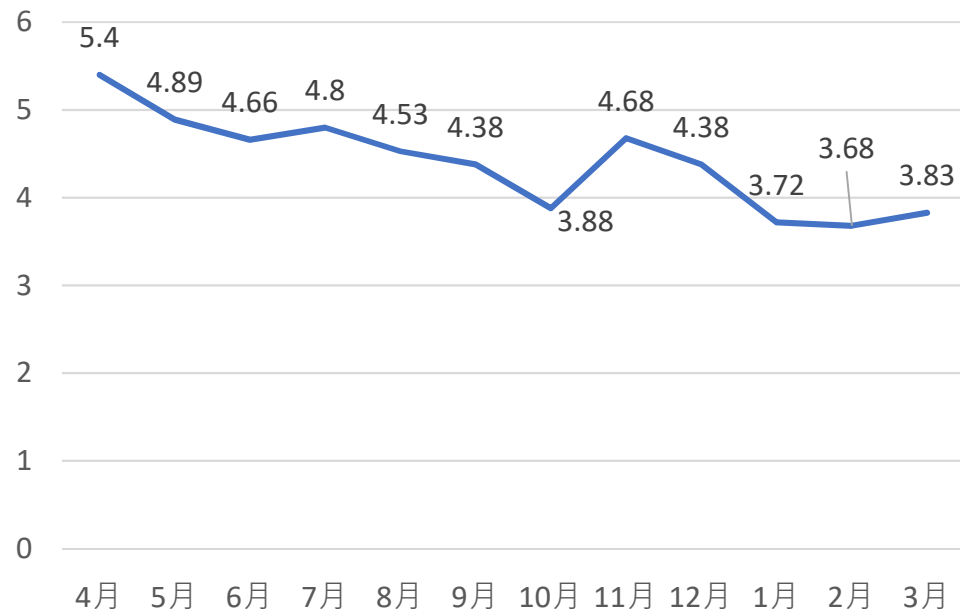


- 慢性心不全急性増悪
- OPE後(弁膜症)
- OPE後(冠動脈バイパス、開胸術)
- 狭心症
- 心筋梗塞
- ASO

1 リハビリの実施単位数

⑦ 心大血管リハビリテーション 1患者1日あたりのリハビリ単位数

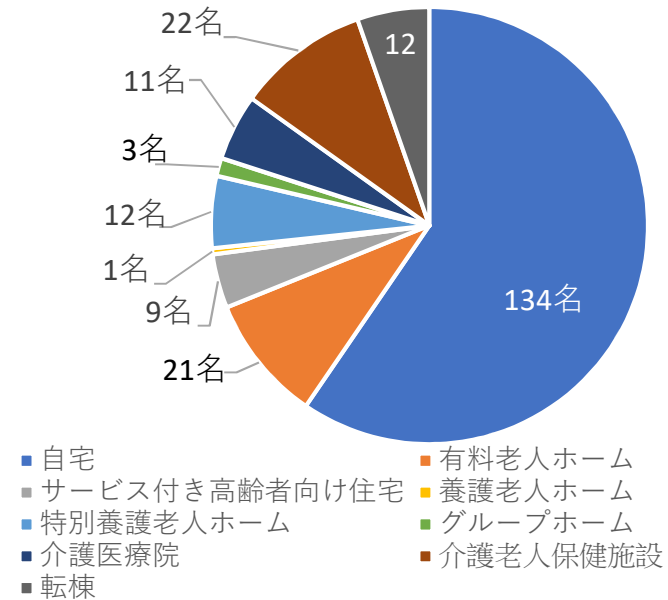
心大血管リハビリの1人あたりの介入平均単位は4.40単位の個別リハビリテーションを実施しております。



2 退院患者

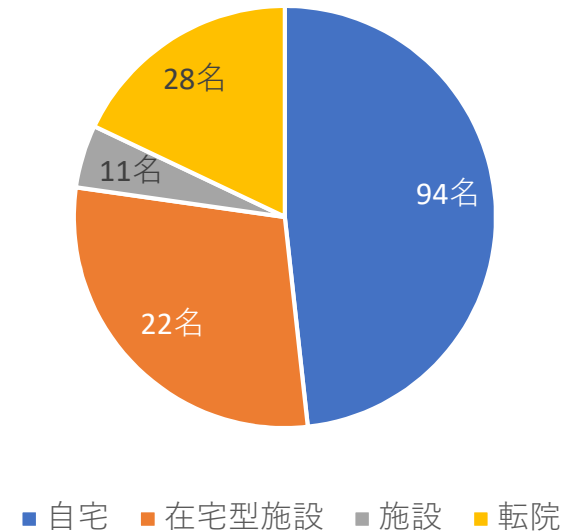
① 回復期リハ病棟最終退院先 (急性期病院転院・死亡退院除く) n=225

退院患者としては、在宅復帰率84.9%です。
(自宅・有料老人ホーム・グループホーム・特別
養護老人ホーム・サービス付き高齢者住宅
介護医療院 等)



② 心大血管リハ病棟最終退院先 n=155

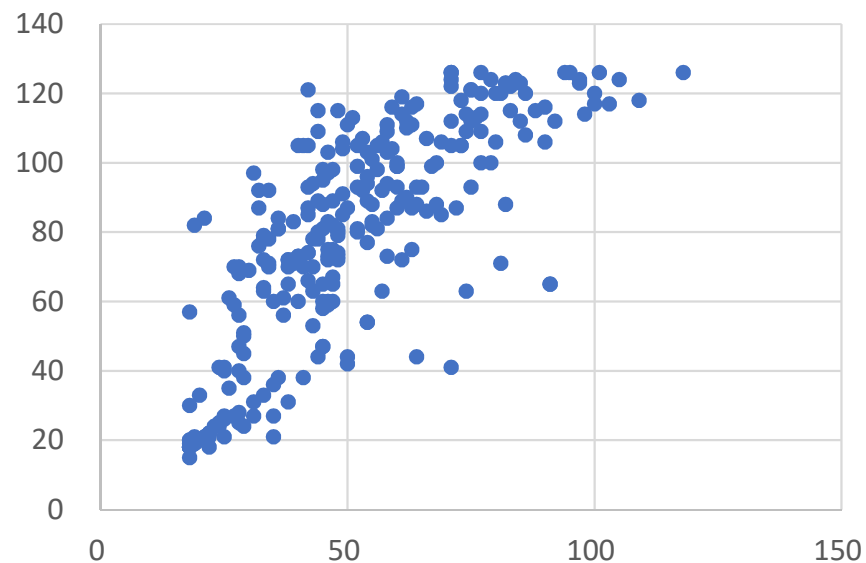
心大血管リハビリ症例中77.2%の、112名が在宅
もしくは在宅型施設へ退院することができました。



3 リハビリによる改善

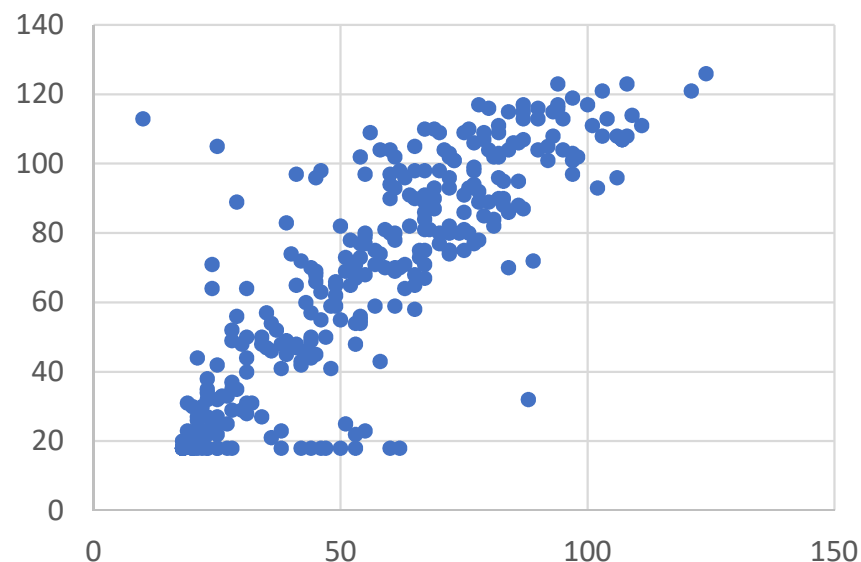
① 回復期リハ病棟 FIM入院時・退院時の散布 n=272

日常生活の自立度の指標であるFIM（Functional Independence Measure）の利得（退院時FIM－入院時FIM）は平均で27.5点改善しています。



② 地域包括ケア病棟 FIM入院時・退院時の散布 n=342

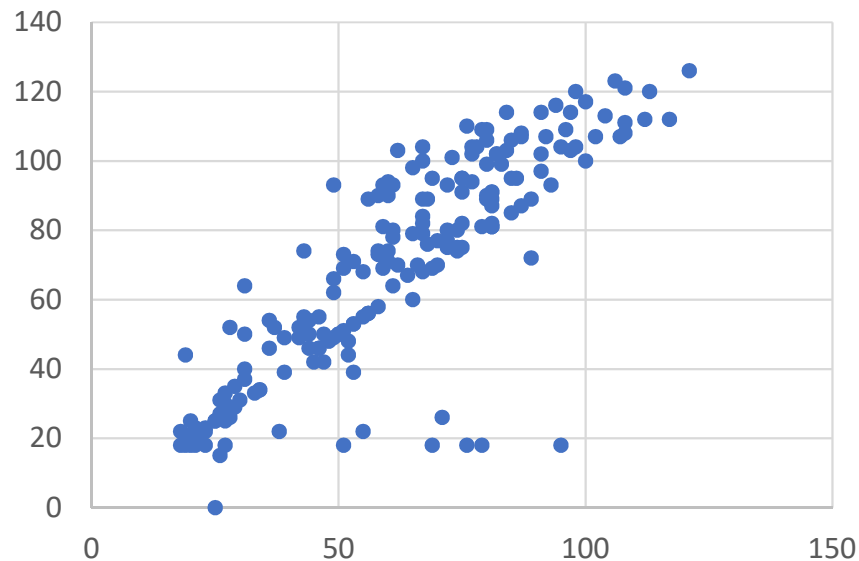
日常生活の自立度の指標であるFIMの利得は平均で15.88点改善しています。



3 リハビリによる改善

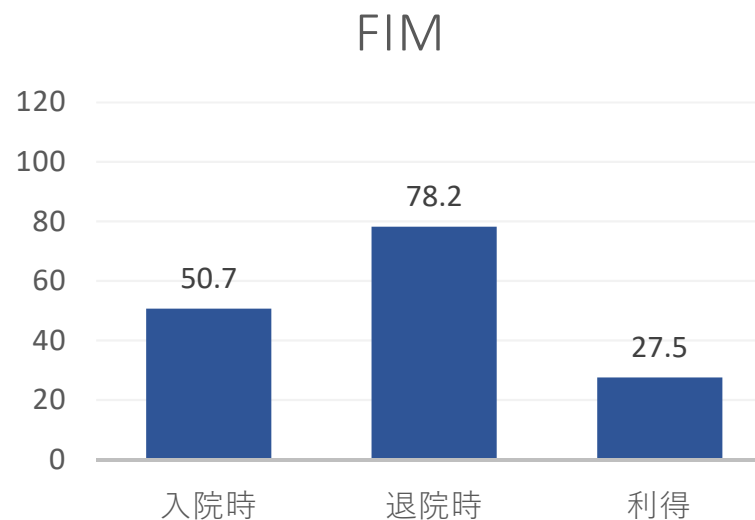
③ 心大血管リハ対象者 FIM入院時・退院時の散布 n=198

日常生活の自立度の指標であるFIMの利得は平均で7.08点改善しています。



④ FIMの改善（回復期リハ病棟：FIM利得） n=271

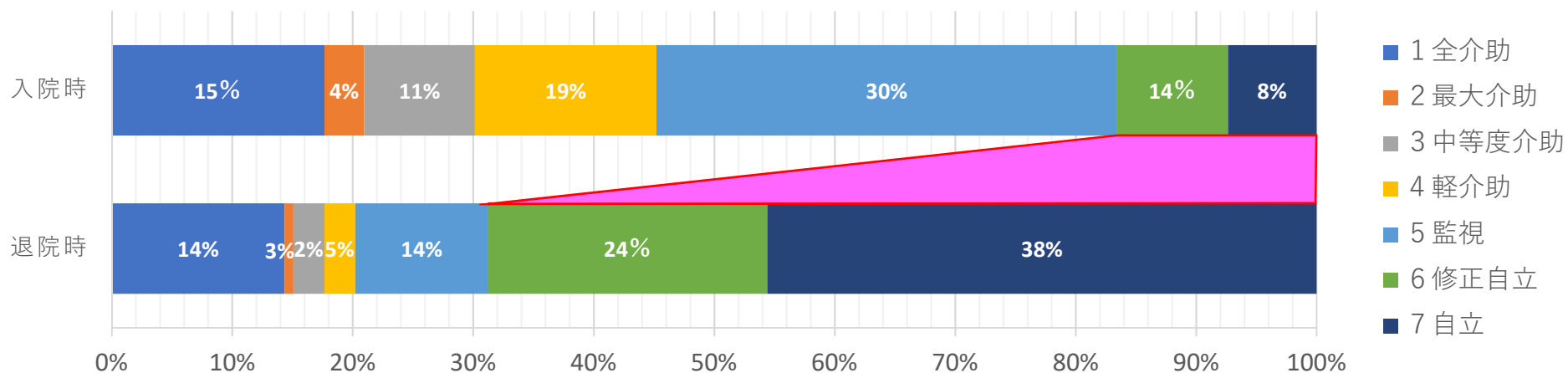
日常生活の自立度の指標であるFIMの利得は平均で25.01点改善しております。



3 リハビリによる改善

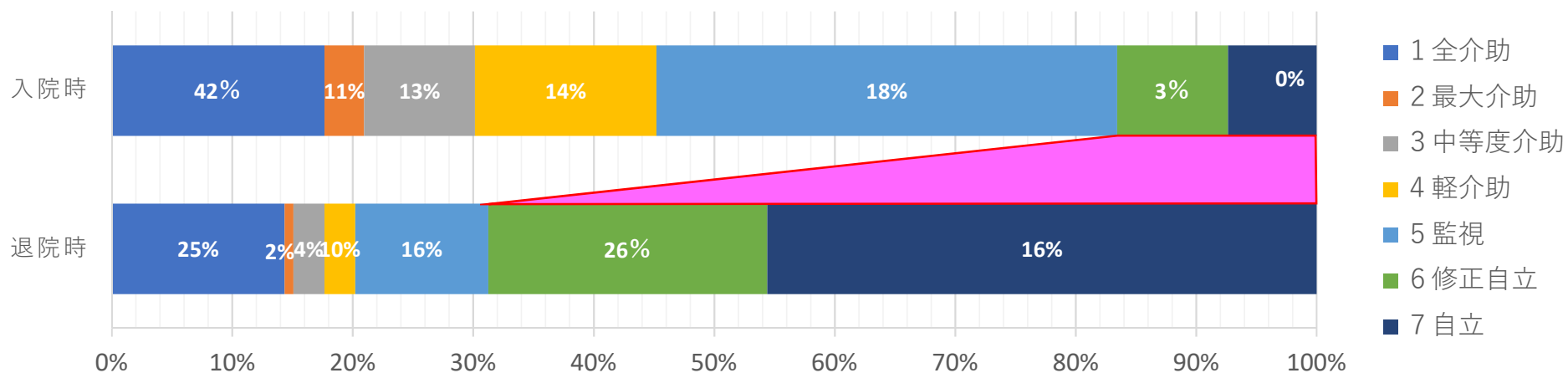
⑤ 食事 FIMの改善（回復期リハ病棟）

食事FIM（n=272）16.5%⇒68.8%（6点以上になった割合）



⑥ トイレ FIMの改善（回復期リハ病棟）

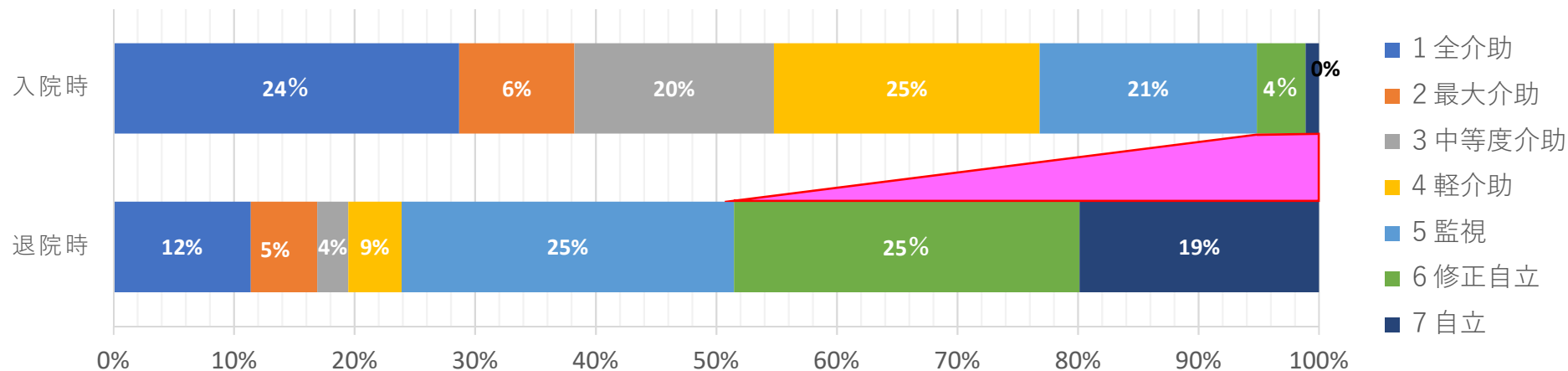
トイレFIM（n=272）4.8%⇒43.0%（6点以上になった割合）



3 リハビリによる改善

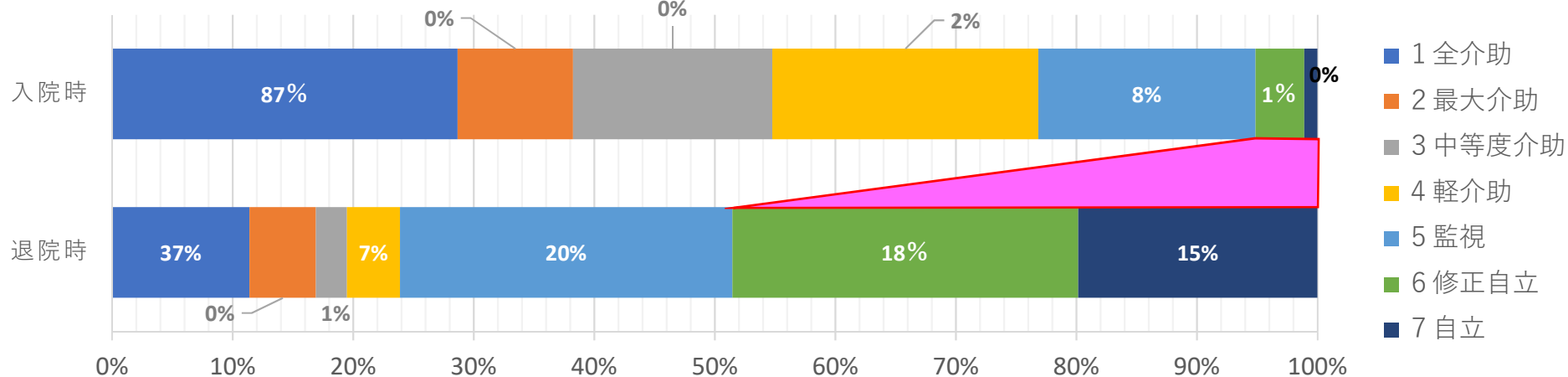
⑦ 移乗 FIMの改善 (回復期リハ病棟)

移乗FIM (n=272) 5.1%⇒48.5% (6点以上になった割合)



⑧ 移動 FIMの改善 (回復期リハ病棟)

移動FIM (n=272) 2.2%⇒36.0% (6点以上になった割合)



3 リハビリによる改善

⑨ 2021年度回復期リハ病棟実績指数（アウトカム）

リハビリテーション実績指数とは、FIM得点の改善度を、患者の入棟時の状態および在院日数を踏まえて指数化したものです。以下の式により算出します。

$$\text{実績指数} = \frac{\text{退棟時のFIM運動項目の得点} - \text{入棟時のFIM運動項目の得点}}{\text{各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数}}$$

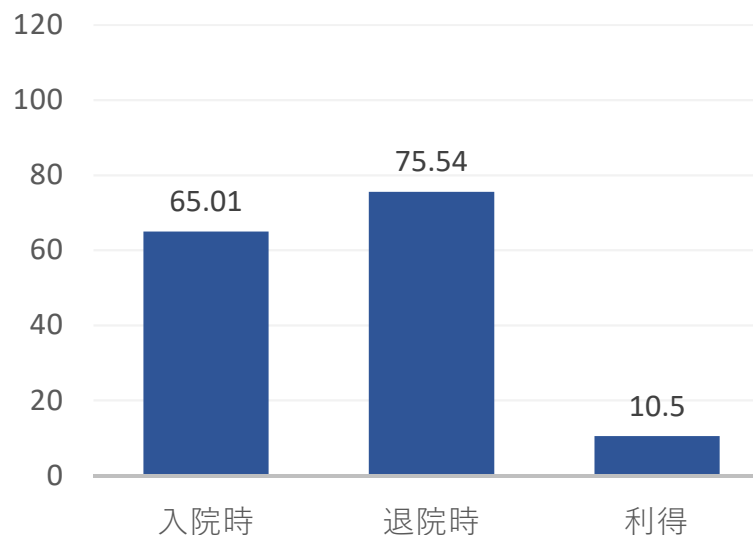
厚労省の基準では実績指数が「40以上」であれば、一定の基準以上のリハビリテーションを提供していると判断されます。



⑩ FIMの改善（心大血管リハ：FIM利得） n=145

FIM利得算出方法 退院時FIM - 入院時FIM

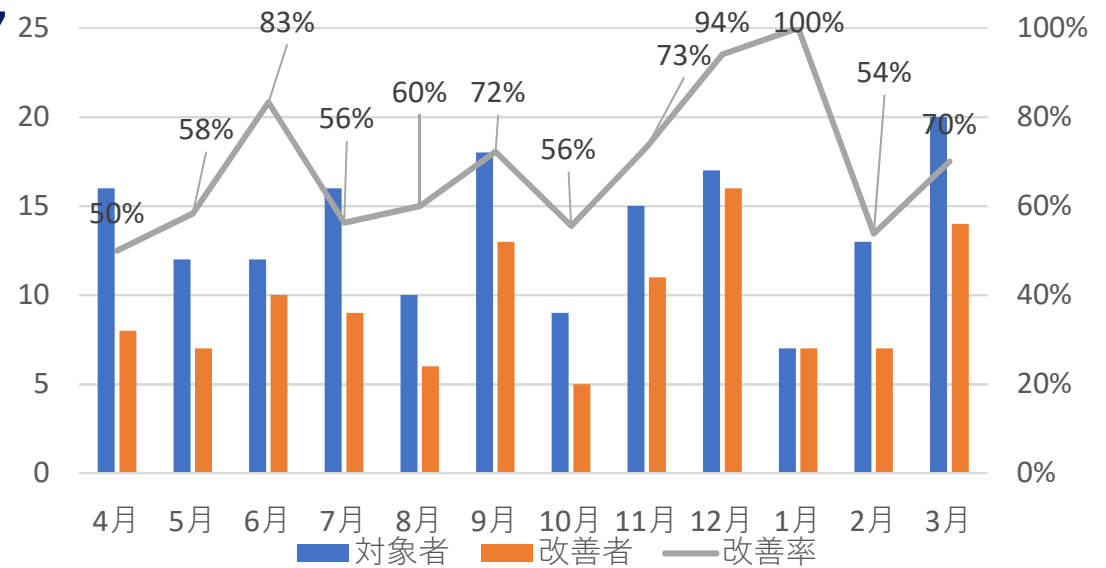
日常生活の自立度の指標であるFIMの利得は平均で10.5点改善しております。



3 リハビリによる改善

⑪ オムツ離脱率（回復期リハ病棟） n=147

回復期病棟へ入棟された方のうち、平均66%の方がオムツを外すもしくはリハビリパンツや布パンツへ移行をしております。

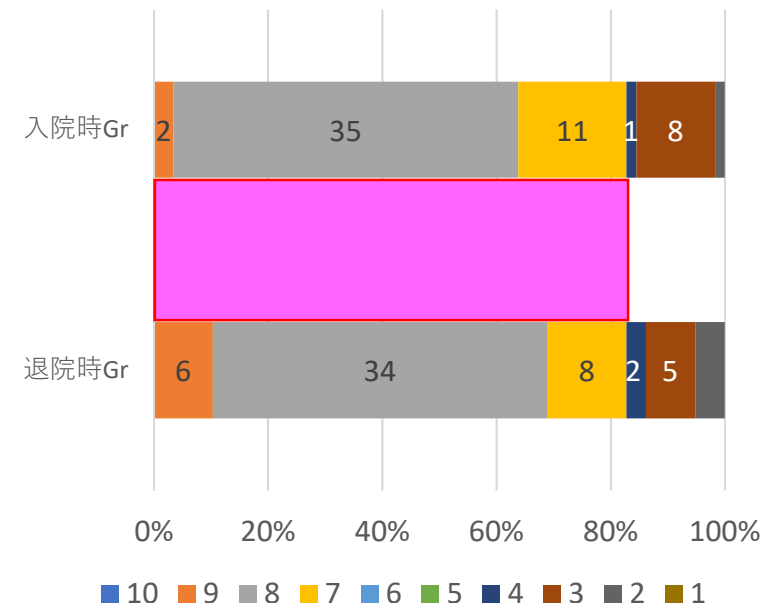


⑫ 摂食嚥下能力のグレード（回復期リハ病棟） n=58

摂食機能療法対象者の摂食嚥下能力について、3食安全に食事が可能な方の割合が、76%から86%と向上がみられています。

（摂食嚥下能力のグレード）

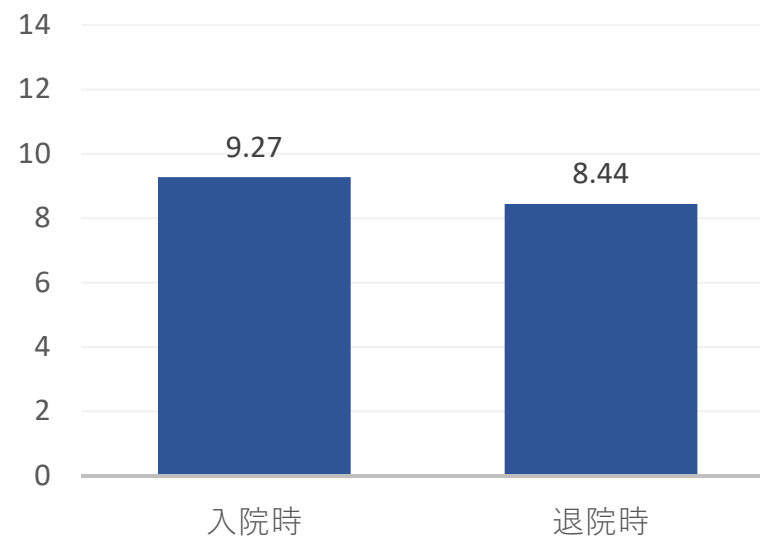
| | |
|---------------------|---|
| IV 正常 | 10：正常の摂食嚥下能力 |
| III 軽症 （経口で栄養可） | 9：常食の経口摂取可能臨床的観察と指導を要する 8：特別に嚥下しにくい食品を除き3食経口摂取 7：嚥下食で3食とも経口摂取 |
| II 中等度 （経口と補助栄養） | 6：3食経口摂取プラス代替栄養 5：一部（1～2食）経口摂取 4：楽しみとしての摂取は可能 |
| I 重症 （経口不可） | 3：条件が整えば誤嚥は減り、摂食訓練が可能 2：基礎的嚥下訓練のみの適応 1：嚥下困難または不能 |



3 リハビリによる改善

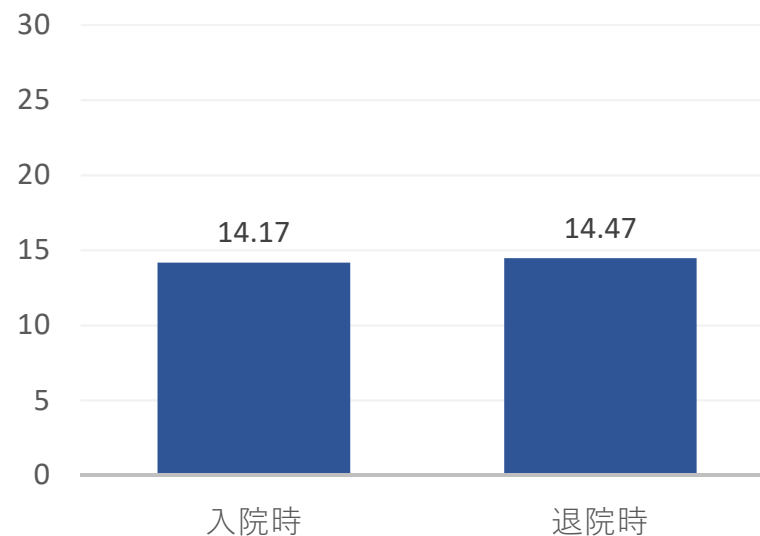
⑬ 5m歩行速度の改善（心大血管リハ） n=175

5m歩行速度です。入院時、退院時測定可能であった症例の平均値（秒）です。
測定時間が9.27秒から8.44秒と1.2秒短縮し、歩行能力の向上がみられます。



⑭ 握力の変化（心大血管リハ） n=175

握力です。入院時、退院時測定可能であった症例の平均値です。



3 リハビリによる改善

⑮ ウォークエイドFIM改善点数 n=23

